

会 議 録

会議の名称	清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（第1回）
開催日時	令和5年11月29日（水） 午後2時から午後3時20分まで
開催場所	清須市役所北館2階 第1・第2会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 次期地方版総合戦略及び人口ビジョンの策定について (2) 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 の概要及び令和5年度実施事業について (3) 地方創生推進交付金を活用した事業について (4) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席図 [会議資料] 資料1 次期地方版総合戦略及び人口ビジョンの策定について 資料2 清須市第3次総合計画の策定のながれ 資料3 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 の概要及び令和5年度実施事業 資料4 地方創生推進交付金を活用した事業 資料5 3年間の事業成果の検証及び今後の取組（地方創生推進交付金を活用した事業） 資料6 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業 参考資料 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議開催要領・公開等
公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数（公開した場合）	0人
出席委員	水谷委員、石嶋委員、名倉委員、辻委員（代理）、小川委員、小副川委員、高山委員
欠席委員	高橋委員
出席者（市）	河口企画部長
事務局	[企画部企画政策課] 林課長、神野課長補佐兼企画政策係長、秋山副主幹、岩田主査 [株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 東海支社] 江口支社長補佐
会議録署名委員	石嶋委員、名倉委員

## 1 開会

(林企画政策課長)

定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度の第1回清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催します。

本日は、大変お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。会議の開催にあたりまして、はじめに、企画部長の河口よりごあいさつを申し上げます。

## 2 あいさつ

(河口企画部長)

皆様、こんにちは。企画部長の河口です。本日はお忙しい中、この、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては、市政各般にわたりましてご理解とご協力をいただいておりますことを、この場を借りまして、お礼申し上げます。

本市におきましては、令和2年度を計画期間の始期とする第2次総合計画の後期計画と併せまして、一体的に清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略2020を策定し、その実現に向けた取組みを進めているところでありますが、この第2次総合計画は、令和6年度末をもって計画期間の終了を迎えるため、令和5年度と6年度の2か年をかけまして、第3次の総合計画の策定を進めているところでございます。

新たな総合計画の策定に伴いまして、清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましても、令和7年度を始めとする新たな戦略の策定が必要となっており、この、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の中で、各分野でご活躍されている皆様からのご意見をいただきたいと考えております。

併せまして、昨年度までと同様に、地方創生推進交付金及び地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況についても、ご協議をいただきたいと考えておりますので、今年度と来年度は議題が大変多くなると思っておりますが、委員の皆様におかれましては、それぞれの立場、またご視点で、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

年末に向けまして、委員の皆様方、体調には十分ご留意いただきたいという言葉を申し添えて、私からのあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(林企画政策課長)

河口でございますが、他の公務のためここで退席させていただきます。

それでは、今回は令和5年度第1回目の会議ということで、事務局からお配りしております委員名簿の順に委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

### 【名簿の順に委員の紹介】

(林企画政策課長)

以上、8名の委員の皆様で構成する会議となりますが、本日は出席者が7名ということで、過半数を超えておりますので、会議が成立しておりますことをご報

告申し上げます。

なお、本日の会議には事務局側としまして、清須市第3次総合計画策定支援業務の受託事業者であります、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所の方にも同席いただいておりますので、ご紹介させていただきます。

それでは、ここからの会議の取り回しは水谷座長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

### 3 議事(1) 次期地方版総合戦略及び人口ビジョンの策定について

(水谷座長)

皆様、改めましてこんにちは。今年度、新たな委員の方も迎えての会議開催となりました。皆様にはどうか忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

はじめに、本日の会議の会議録署名委員の指名をさせていただきます。名簿の上から順に、石嶋委員と名倉委員に会議録の署名をお願いしたいと思います。

それでは、議事(1) 次期地方版総合戦略及び人口ビジョンの策定について、事務局から説明をお願いします。

(岩田主査)

#### 【資料1・2を説明】

(水谷座長)

ありがとうございました。委員の皆様から率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

私の方からも1点、総合戦略の中身については、次回以降の会議で具体的な検討がされるということでしたが、検討にあたっては、可能な範囲でデータをお示しいただきたいと思っております。

具体的には、資料1の6ページに将来展望人口とありますが、高齢者でも60代・70代、また、100歳代の方々では特性が異なり、まだお仕事をしている年代、介護が必要になる年代といった違いが出てくると思いますので、可能な範囲で構いませんので、年代別のデータをお願いできればと思います。

また、介護や都市計画の部署で今後の人口の推計に特化したデータを持っているのであれば共有できるとありがたいです。例えば介護では、どれぐらいの方々が必要になるのかを予測されているのか、都市計画の方では、地域をメッシュで区切って経年的に住民の年齢層がどう変化するのかを予測されているのかなど、他の部署の人口推計があれば共有をお願いしたいです。

(岩田主査)

第2回目以降の会議で、できる限り事務局としてもお示しができるように、進めてまいりたいと思います。

(水谷座長)

ありがとうございます。それでは、その他に皆様いかがでしょうか。

(石嶋委員)

5 ページの(2)で、市の人口に関する課題があがっていますが、この課題が何を根拠に出てきたのかという具体的なデータが他にはありませんので、これも次回お示しいただけるのでしょうか。

(岩田主査)

5 ページにお示ししている課題につきましては、現行の人口ビジョンの策定を行った際に課題として整理した4つとなっています。第2回目以降の会議では、現行の人口ビジョンの課題であるこの4つの課題が、今の時点でどの程度解決に向かっているのか、まだ課題として残っているのか、これ以外の新たな課題が出てきていないかなど、そういった視点で検討したものを会議でお示し、改めてご意見をいただきたいと考えております。

(石嶋委員)

ありがとうございます。

(水谷座長)

他にはいかがでしょうか。

具体的な内容については、次回以降の会議で議論することになると思いますが、新たな総合戦略と人口ビジョン策定を進めるということで、引き続きよろしくをお願いします。

それでは、次の議事に移ります。

### 3 議事(2) 清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020 の概要及び令和5年度実施事業について

(水谷座長)

それでは、議事(2)について、事務局より説明をお願いします。

(岩田主査)

#### 【資料3を説明】

(水谷座長)

ありがとうございました。皆様、ご質問はいかがでしょうか。

(高山委員)

基本目標②のKPIのところ、「創業支援事業による創業件数」とありますが、下の令和5年度実施事業のところの地方創生推進交付金事業などの支援策と関係しているものですか。

(岩田主査)

「創業支援事業による創業件数」は、令和5年度実施事業の一番上に記載があ

りますが、商工会との連携により、創業支援セミナーや中小事業者を対象とした講習会など開催していただいております、その仕組みを活用して創業に至った件数を掲載しております。

(高山委員)

ありがとうございます。また、これは意見になるのですが、基本目標①のところの数値目標の中で、20歳代～40歳代の人口数を増やすというのが、そもそも現実的な目標設定なのかと感じておりますので、そういったことも含めて考えていくべきなのだろうと思います。

(水谷座長)

その通りだと思います。人口を増やせば良いというものでもありませんし、実際減っていく中で具体的にどうしたら良いのかということも、きちんと見極めていく必要があると思います。

本日の議題の趣旨としましては、実施した結果の評価になりますので、そういった視点でのご意見をいただければと思いますが、同時に、この現行の総合戦略を検討した際にも、KPIの設定で悩んだ経緯もありますので、今後、新たな戦略を策定していくにあたり、指標の設定が適切かどうか、もっと良い指標がないかといった視点でも見ていただければと思います。

(高山委員)

基本目標①のKPIのうち、「保育園の入園待機児童数」についてですが、目標値も現状値も0人ですので、達成度は一番上の「S」で良いのではと思います。「A」の評価となってしまうのでしょうか。

(岩田主査)

達成度の基準としまして、「S」は「目標以上を達成」、「A」は「(概ね)目標を達成」としており、ここでは、目標以上の結果とは言えないことから、「A」評価とさせていただきます。

(水谷座長)

基本目標①「定住する若い世代を増やす」ということについて、小川委員はどのように思われますでしょうか。

(小川委員)

教育に関して、優秀な方が清須市から名古屋の方に出ていかれることが多いため、清須市には教育を強みとした取組みを進めていただきたいと思います。

幼い頃からの英語教育など、教育に特化したまちづくりをお願いしたいです。

(水谷座長)

教育が充実しているまちは、子育て世代にとって魅力があると思います。20代から40代の人口を増やすには、教育がひとつ大事な部分なのではないかというご意見でした。ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。

(名倉委員)

基本目標②「市の『強み』を生かして経済効果を生む」の数値目標の中で、「市内の民営事業所数」について、平成28年が2,495事業所、令和3年が2,517事業所と増えていますが、この民営事業所の内訳としてどのような事業所が入っているのか疑問に感じました。

商工会で把握している商工業者、小規模事業者の数ですと、平成28年が2,317事業所、令和3年が2,306事業所と若干減少している状況です。

しかし、この資料上は増加となっていますので、目標達成という意味ではよろしいのですが、この内訳が分かると良いかと思えます。

実際には、事業者数は減って、一般社団法人やNPO法人などの事業所が増えているということもあるかと思えますので、そのようなことが分かるようお示しいただければと思います。

(岩田主査)

ここの指標については、5年に1回実施される経済センサスという統計調査の結果を使用しております。ここでは事業所数の合計しか記載していませんが、おそらく統計調査の結果をより詳しく見れば内訳が分かるかと思えますので、また第2回以降でお示しできたらと思います。

(水谷座長)

ありがとうございます。関連する部分として、「創業支援事業による創業件数」のKPIの達成度が「C」になっておりますが、これはどのような状況でしょうか。

(岩田主査)

総合戦略の計画期間前、平成30年度の時点で18件となっており、それを令和6年度までに25件に増やそうといった目標を掲げています。創業件数の内訳等ははっきり把握ができておりませんが、増加を目標としていたものの、現時点では逆に減少する結果となっており、目標達成が困難であるという評価をせざるを得ないのかなと考えています。

(名倉委員)

私から少し補足させていただきたいと思えます。「創業支援事業による創業件数」は、清須市・北名古屋市・豊山町の商工会が市役所と合同で行っている創業セミナーに、積極的に参加して創業まで至った方の件数かと思えます。実際には、そういった市や商工会の創業支援を利用せずに創業される方はもっとたくさんいるのではないかと思います。

(水谷座長)

今の話と、先ほどの教育の話の掛け合わせると面白いことが起きるのではと思えました。小さい頃から、どんな仕事があるのか、どんな仕事をつくっていくと面白い社会になるのかという考えが生まれると、まち・ひと・しごと創生総合戦略というものの価値が出てくるのではないかと思います。子ども向け、もしくは

は若い人向けの創業支援、セミナーなどはどうなんですか。

(名倉委員)

2市1町でやっている創業セミナーは、スケジュールに縛られているところもあり、正直少し堅苦しい印象です。経営のいろはを勉強するという意味では良いかもしれませんが、今の時代は、もっと自由な感じで気軽に創業する方がたくさんいると思うので、なかなかそういうところに自分から参加してお話を聞こうという方は少ないのかなと思います。

新しく開業された後に商工会に相談にこられる方は、セミナーの参加者などと比較して若い方もいますし、逆に高齢の方で一線を退いた後、自分の趣味や専門性を生かして創業する方もいて、創業する方の年齢層の幅は広いという印象を受けます。

(水谷座長)

まち・ひと・しごと創生総合戦略というのは、そういう若い方、シニアの方、女性の方などに目を向けて、自己実現に加えて生活ができるようにしていくことが必要だというものだと思います。

(名倉委員)

最近創業される方は、エステやネイルアートなど女性の創業者も多いと実感しています。

(水谷座長)

ありがとうございます。こういった現状について、金融機関の目線からのご意見もいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

(小副川委員)

私も信用金庫のお客様は、中小零細企業が多いのですが、開業される際に口座を開設する機会があります。そういう時にお話をさせていただくと、名古屋駅にも近い立地の良さや賃料の安さなどが、清須市に事務所を構えるきっかけになっているというお話はよく聞きます。そういうところにフォーカスして支援や施策を打てば、創業件数も増える可能性が高いのではないかと感じました。

(水谷座長)

すごく大事なことだと思います。そういった清須市の良さを、いかに市外の人たちにPRしていくかということも大切なのではないかと思います。

他にご意見はいかがでしょうか。

私からひとつ、基本目標②のKPI「清洲ふるさとのやかたでの土産品販売額」の達成度が「S」になっていますが、目標以上を達成できた要因を教えてください。

(岩田主査)

この部分につきましては、後ほどの議題の中でも詳しく出てきますが、一番の

要因としては、令和4年7月に清洲ふるさとのやかたの内装を大幅にリニューアルし、そこに立ち寄る人や立ち寄った方の滞在時間が増えた、ということが考えられます。

(水谷座長)

あとは、達成度がDになっている箇所が気になりますね。基本目標①「20歳代～40歳代の地域防災リーダー養成講座受講者」もそうですが、基本目標③「母子保健推進員数」、「食生活改善推進員数」といった、担い手を養成していくところは軒並み「D」になっています。

(岩田主査)

例えば、基本目標①にある若い世代の地域防災リーダー、基本目標③にある世代を問わない地域防災リーダー全体の人数にも同じことが言えますが、全てをこの理由で片付けて良いかといったことはあるのですけれども、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度と3年度は、市で年に1回開催する地域防災リーダー養成講座が開催できない状況となっておりました。令和4年度からはまた開催しておりますが、2年間開催できなかったことが、地域防災リーダーの人数が伸び悩んだ大きな要因かと考えております。

(水谷座長委員)

地域防災リーダーについても、例えば小中学生、高校生、大学生に向けた防災リーダーの養成や、母子保健推進員や食生活改善推進員については、もしかすると、改めて一度、受講される方々のニーズ、どのようにしたら受講してもらえるかといったことを聞いたうえで、企画をすることが大事かもしれないですね。

それでは、次の議事の方に移りたいと思います。

### 3 議事(3) 地方創生推進交付金を活用した事業について

(水谷座長)

では、議事(3)について、事務局より説明をお願いします。

(岩田主査)

#### 【資料4、5を説明】

(水谷座長)

ありがとうございました。ご意見はいかがでしょうか。

委員の皆様にも、私の方からひとつ投げ掛けたいことがございます。清須市の土産物や特産品の開発がうまくいっていることはとても素晴らしいと思います。これらを日本のみではなく、海外向けに輸出することも良いのではないのでしょうか。大規模に進めると色々リスクもあると思いますので、例えば、メルカリやAmazonなどの個人レベルでもできるようなところから、リスクを負わない、コストをかけないようなアプローチで、海外向けの通信販売を行い、清須や



日本の文化、食品などを売っていくのはどうでしょうか。私は素人ですので、専門の皆様から、もしご意見をいただけたらと思います。

この案は、資料5の内容にも合致するような気がします。地方創生推進交付金は、新たにデジタル田園都市国家構想交付金という補助制度になりましたが、「デジタルの活用による観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組を支援」ということですので、マーケットを海外に移して輸出をするということに関して、ご意見がいただけたらと思います。

愛知県の方の文化事業についての現在の状況や、それと比較して清須市がどうなのか、そして今後の海外展開の可能性はあるのかなど、教えていただければと思います。

(辻委員 (代理))

海外展開ということは、我々のような地方公共団体から、少なくとも文化財の部門で言いますと、考えたことがなく思い付かないですね。

(水谷座長)

清洲城と合わせた朝日遺跡ミュージアムへの来場者は、目標達成には至らなかったとのことですが、ミュージアムにおける土産物などの物販はどうだったのでしょうか。

(辻委員 (代理))

朝日遺跡ミュージアムは県の施設になるのですが、清須市と地元の和菓子屋などとともに土器のサブレをつくるなど、一緒に努力をしてきました。比較的売れているのではないかなと思います。しかし、朝日遺跡ミュージアムはあまり大きくなく、物販できる場所も限られているということもあります。

私は、ミュージアムの建設当時に担当をしておりまして、以前の貝殻山貝塚資料館、古いミュージアムの時には、小さいお子さま連れのお母さんがよくこられていたので、そういった方に喜んでいただけるようにイメージし、中の床や壁、天井も真っ白にして明るくしました。案内文字も、丸く優しい感じのものにして可愛くするなど、色々と考えてつくったりしました。

(水谷座長)

そこまで考えてつくられたということで、例えば、保育園や幼稚園、小学校など、子どもたちが多くいるようなところに、親子で楽しめる施設なので遊びに来てね、といったようなPRはどうなのでしょう。

(辻委員 (代理))

私どもから清須市へ、小学校や幼稚園、保育園の皆さんにぜひきていただきたいという願いはしております。

(水谷座長)

ありがとうございます。また、リアルな来客の方に加えて、これからはDXの時代ということもありますので、メタバースの空間の中での出店や、文化・歴史

というものを世界に広めて、それを物販につなげることなどができる面白い展開が生まれるのではないのでしょうか。できれば、このようなことが得意な若い方へのアプローチができればと思います。リハビリテーションなども学生の専門性が高いので、そういったところもメタバース空間を使えば、海外との交流ができるかもしれないなど、夢が広がっています。

(小川委員)

きよすイルミについてですが、昨年度、ラリーとして3か所をスタンプラリーにすることでどの程度集客につながったのでしょうか。私は清須で何十年も仕事をしており、官学連携での取組としてはとても良いと思いますが、清洲城に1度行けば、なかなか再度行こうとならないと思います。もう一度行ってみようと思ってももらうには、周辺でのイベント実施だけでなく、清洲城そのものについての企画も何か考えていかないといけないのではないかと感じています。

(水谷座長)

現状どのような感じでしょうか。

(岩田主査)

きよすイルミについて、今年度の話にはなりますが、今年も、きよすイルミが既に11月11日からスタートしています。今年は、官学連携の取組として、名古屋デザイナー学院と連携し、学生が製作した光の芸術作品を展示しています。これまで同様のイルミネーションに加えて、学生による光をテーマにしたアート作品の展示をセットで行い、そこから清洲城への誘導につきましては、きよすイルミの案内チラシ等で、清洲城天守閣を光のアートがきれいに見える夜景スポットとして紹介しています。これにより、少しでも清洲城への誘導ができたらと考え、仕掛けておりますが、その結果については、きよすイルミが終了する12月25日以降に、入場者数等が分かりますと、検証ができるかと思っています。

(水谷座長)

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

(石嶋委員)

清洲城がイルミで盛り上がっていることはとても良いと思いますが、この時期以外の企画や、最寄り駅からの動線で、流れで清洲城にも行ってみようとなるようなことが必要だと思っておりますが、何か検討されているものはありますか。

(岩田主査)

駅から清洲城までの導線をどう考えていくかといったことは、課題のひとつであると思っておりますが、現状、具体的な検討は行えていません。

(水谷座長)

きよすイルミの時期以外でのイベントや取組はありますか。

(岩田主査)

お花見の時期は、清洲城一帯や五条川沿いにたくさんの花見客がみえます。その他には、年明け1月1日に、初日の出を清洲城から見てみようですとか、そういった取組みは継続して行っておりますが、それによってどの程度、清洲城へ入場する動機付けにつながっているかは、判断が難しいところです。

(水谷座長)

ありがとうございます。単発のイベント実施だけではなく、また、面的な整備や、時間軸をどのようにつなげていくのかといったことは、これから展開していくうえで考えなければならない課題なのかなと感じます。

それでは、お時間もございますので、次の議事に移りたいと思います。

### 3 議事(4) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

(水谷座長)

では、議事(4)について、事務局より説明をお願いします。

(岩田主査)

#### 【資料6を説明】

(水谷座長)

ありがとうございます。ご意見はありますでしょうか。

(名倉委員)

「清須げんき商品券発行事業」は事業費も大きい額になっており、商工会としても換金業務などでお手伝いさせていただいています。清須市内の事業所だけでこれだけの金額が動くことは、かなりの効果があるのではないかと実感しています。来年度以降はどうなるのか分かりませんが、事業者の皆さんからは、続けて欲しいという意見が多くあります。

(小副川委員)

名倉委員からもお話があったように、私どものお客様からもかなり良い影響があったと聞いておりますので、引き続き、地元の商店を支える事業については継続されると良いと感じております。

(水谷座長)

ありがとうございます。それでは、議事については以上とさせていただきたいと思いますが、全体を通して何か言い残したことがあれば伺いたいと思います。

(高山委員)

この間の日曜日に、清洲駅から歩いて自宅に帰る途中、きよすイルミを見たの

ですが、プロジェクションマッピングもとても綺麗で、おそらく新幹線やJRからも見えると思いますし、宣伝になっていると思いました。色を変えて夏に実施することもできれば、広がりが出るのかなと思いました。

(水谷座長)

どう集客につなげるかは、次の展開の課題だと思います。頑張って結果も出ているので、次にどうつなげるかを考え、横展開と時間、いかにインターネット空間につなげ、そして世界につなげていくのか。そしてお金がどのように回っていくのかが大事だと思います。上手にインターネット空間を使って、知ってもらい、好きになってもらう、買ってもらうなどのつながりをつくっていけると素晴らしいと思います。

他にはよろしいでしょうか。また、地域の方々が地域のことに関心しづらくなっているという部分が数値としても現れていますので、そこはこれからのやり方を一緒につくっていくことが大事だと思います。

#### 4 閉会

(水谷座長)

皆様、本当にご協力ありがとうございました。それでは、以上をもちまして令和5年度第1回清須市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了いたします。それでは、事務局にお返しします。

(林企画政策課長)

皆様、本日は貴重なご意見をありがとうございました。議事の中でもご説明させていただいたように、第3次総合計画の策定にあたりまして、現在、令和5年度から6年度にかけて、総合計画審議会を設置しており、本会議の水谷座長にも、審議会の副会長というお立場で携わっていただいております。本会議において、今後、皆様にご検討いただく地方版総合戦略は、総合計画と一体的に策定するものとなっていることから、本会議の委員の中からお一人、総合計画審議会にもご参画いただきたいと考えております。

そこで、第2次総合計画策定の際にも、総合計画審議会の委員としてご参画いただき、総合計画の各種施策の評価を行う行政評価にも長年携わっていただいております、高山委員に総合計画審議会委員へのご就任をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

[異議なしの声]

(林企画政策課長)

ありがとうございます。それでは、高山委員、よろしく願いいたします。

次回の戦略推進会議は、令和6年2月の開催を予定しております。その際には改めてご案内させていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、以上で終了とさせていただきます。本日は長時間に渡り、ありがとうございました。

問い合わせ先	企画部企画政策課 052-400-2911 (内線3251)
--------	-----------------------------------

会議の経過を記載して、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員 石嶋 和雅

署名委員 名倉 晃広

